

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公開番号】特開2001-236253(P2001-236253A)

【公開日】平成13年8月31日(2001.8.31)

【出願番号】特願2000-46675(P2000-46675)

【国際特許分類第7版】

G 06 F 12/00

G 06 F 3/06

G 06 F 12/16

【F I】

G 06 F 12/00 5 3 1 M

G 06 F 3/06 3 0 4 F

G 06 F 12/16 3 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月19日(2003.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】複数の記録媒体を利用したデータバックアップ装置およびプログラム記憶媒体

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを複数の第2の記録媒体にバックアップする装置であつて、

上記第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを読み出す読み出し手段と、

上記読み出し手段により読み出された複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体に書き込むための複数の書き込み処理を実行する書き込み手段と、

上記複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体へのバックアップ時間を各データセット毎に検出する検出手段と、

過去の上記検出手段により検出されたデータセット毎のバックアップ時間に基づいて、該データセットを上記並列的に実行される複数の書き込み処理に割り当てる割当て手段と、を有するバックアップ装置。

【請求項2】

上記割当て手段は、上記並列的に実行される複数の書き込み処理の処理時間が均一または略均一になるように、上記複数のデータセットをそれらの書き込み処理に割り当てることを特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項3】

上記割当て手段は更に、過去にバックアップ処理が実行されたデータセットについて、過去に上記検出手段により検出されたバックアップ時間に基づいて、次回のバックアップ処理に要するであろう予測時間を算出する第1の算出手段と、

過去にバックアップ処理が実行されていないデータセットについて、そのデータセットのデータ量に基づいて、次回のバックアップ処理に要するであろう予測時間を算出する第2の算出手段を含み、

上記第1および第2の算出手段により算出される各データセットについての予測時間に基づいて、それらのデータセットを上記並列的に実行される複数の書き込み処理に割り当てるこ^トと特徴とする請求項1に記載の装置。

【請求項4】

第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを複数の第2の記録媒体にバックアップする装置であって、

上記第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを読み出す読み出し手段と、

上記読み出し手段により読み出された複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体に書き込むための複数の書き込み処理を実行する書き込み手段と、

上記複数のデータセットの各データ量を検出する検出手段と、

上記検出手段により検出されたデータセット毎のデータ量に基づき、該データセットを上記並列的に実行される複数の書き込み処理に割り当てる割当て手段と、

を有するバックアップ装置。

【請求項5】

第1の記録媒体に格納された複数のデータセットを複数の第2の記録媒体にバックアップする場合においてコンピュータに、

上記第1の記録媒体から上記複数のデータセットを読み出し、該複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体に書き込むための複数の書き込み処理を実行するステップと、

上記複数のデータセットを上記複数の第2の記録媒体にバックアップする時間を各データセット毎に検出するステップと、

過去に検出されたデータセット毎のバックアップ時間に基いて、それらのデータセットを上記並列的に実行される複数の書き込み処理に割り当てるステップと、

をコンピュータに実行させるプログラムを記録したコンピュータが読取り可能な記録媒体。

【請求項6】

上記割当てステップは、上記並列的に実行される複数の書き込み処理時間が均一または略均一になるよう、上記複数のデータセットをそれらの書き込み処理に割り当てるこ^トと特徴とする請求項5に記載のプログラムを記録したコンピュータが読取り可能な記録媒体。